

「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した災害伝承の取組について

～土砂災害 啓発・伝承プロジェクト～

砂 防 課

1 要 旨

県民の土砂災害に対する意識の醸成を図るとともに、過去の土砂災害の教訓を伝承していくため「啓発」・「防災教育」・「伝承」を3本の柱とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の取組を進めているところであり、このうち「伝承」に関して、各市町や地域と連携した災害伝承の取組状況及び支援制度を活用した地域自らが行う災害伝承の取組について報告する。

2 「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した取組

(1) 取組内容

災害伝承や防災教育等の機会を通じ過去の被災事実を伝えることを目的として、各市町や地域と連携し、県ホームページ「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている過去の被災写真や体験談、また、「災害の記憶つなぐ人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～」を活用し、地域の災害伝承の取組を支援した。

【取り組み状況 令和2年12月末時点】

取組内容	開催日時	開催場所	実施主体	備考	
土砂災害 伝承パネル展	土砂災害啓発ロビー展	R2.5/27～7/1	楠那公民館	平成26年8.20広島土砂災害	
	防災パネル展	R2.7/15～7/27	安公民館		
	防災パネル展	R2.8/1～8/10	安佐南区スポーツセンター		
	防災パネル展	R2.8/14～8/19	鞆西公民館		
	防災パネル展	R2.8/19～8/30	スマジ交通ミュージアム(交通科学館)		
	防災パネル展	R2.8/22～8/30	鞆園公民館		
	防災パネル展	R2.8/7～8/25	安佐北区民文化センター		
	地域の防災研修会	R2.11/6～11/13	神石高原町		
紅葉谷川 パネル展示	R2.12/18～3/31	宮島歴史民俗資料館	廿日市市宮島歴史民俗資料館	紅葉谷公園文化財登録	
開催校	開催日時	講座概要	対象	備考	
防災教育 (砂防出前講座)	竹原市立竹原中学校	R2.6.10	講義、模型実験	3年生 78名	
	東広島市立河内小学校	R2.6.19	講義、模型実験、パネル説明	全学年 64名	東広島支所が実施
	坂町立小屋浦小学校	R2.7.2	講義、施設見学	全学年 62名	施設見学は西部建設事務所が担当
	北広島町立豊平小学校	R2.7.16	講義、模型実験	全学年 120名	安芸太田支所が実施
	三原市立木原小学校	R2.7.31	講義、模型実験、施設見学(西福地川災害関連緊急砂防工事)	全学年 12名	三原支所が実施
	府中町立府中中学校	R2.9.16	講義、ハザードマップ	1年生 219名	
	武田中学校・高等学校	R2.10.2	講義(オンライン)	全学年 600名	オンライン授業で実施
	大崎上島町立大崎小学校	R2.10.8	講義、模型実験、マイタイムライン	5,6年生 41名	
	呉市立和庄小学校	R2.10.27	講義、模型実験、VR、ハザードマップ、マイタイムライン	5年生 39名	
	庄原市立東城小学校	R2.10.28	講義、模型実験	4年生 40名	庄原支所が実施
	廿日市市立宮島小学校	R2.12.16	施設見学(紅葉谷川庭園砂防)	5,6年生 27名	
	上記の外 25校	随時			

【取組事例】



災害伝承パネル展
(広島市南区楠那公民館)



災害伝承パネル展
(広島市安佐北区民文化センター)



砂防出前講座
(竹原市立竹原中学校)

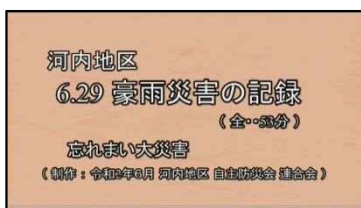


砂防出前講座
(大崎上島町立大崎小学校)

(2) 取組の成果

各市町や地域と連携した災害伝承の取組の結果、「地域の砂防情報アーカイブ」へ地域の皆様及び市町などから約400点の過去の災害写真等の提供を受けた。

【提供記録の一例】



河内地区 6.29 豪雨災害の記録(動画)
[広島市佐伯区五日市町]
(提供: 河内地区自主防災会連合会)



平成22年7月豪雨災害
[庄原市西城町]
(提供: 庄原市西城町住民)



平成30年7月豪雨災害
[大崎上島町中野]
(提供: 大崎上島町役場)



平成30年7月豪雨災害
[神石高原町豊松]
(広島県東部農林水産事務所撮影)

3 「地域の砂防情報アーカイブ運営会議」の開催

地域の皆様より提供された過去の災害写真や体験談等については、学識経験者等による「地域の砂防情報アーカイブ運営会議」における審査を経て、「地域の砂防情報アーカイブ」に追加し、令和3年3月下旬に県のホームページ上で公開する予定である。

今年度の運営会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とする。

- (1) 内 容 (ア) 土砂災害伝承の取組についての報告
 (イ) 記録及び共有の対象となる情報の審査
 平成 11 年 6.29 豪雨災害の記録（地域住民制作の動画）
 平成 22 年 庄原豪雨災害の記録（写真） など

(2) 委 員

氏 名	所属・役職名等
海堀 正博	広島大学学術院 防災・減災研究センター長
長谷川祐治	広島大学大学院 総合科学研究科准教授
原田 照美	広島市自主防災会連合会顧問
岡崎 伸宏	砂防ボランティア広島県協会長
山本 悟司	広島県土木建築局砂防課長

4 今後の予定

引き続き、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」及び「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の一環として、市町や地域と連携し、被災後の節目となる時期等に災害伝承に関わる様々な取組を積極的に行い、地域住民自ら災害伝承できる体制づくりを目指し、新たな語り部育成に努める。

【参考】

土砂災害 啓発・伝承プロジェクト（三本の柱） 広島県

8. 20土砂災害の教訓を踏まえ、再び同じ災害を繰り返さないためには、土砂災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を風化させず、被災の事実を後世に伝承していく必要があります。
「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」では、土砂災害への防災意識を県民へ広く啓発することに加え、被災事実を地域に確実に伝承していく取組を積極的に実施することにより、地域防災力の向上を推進していきます。

① 県民へ防災意識を広く「啓発」
 ② 次世代を担う子供たちへの「防災教育」
 ③ 記録として被災の事実を「伝承」

取組の連携

防災意識の醸成による地域防災力の向上

「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイト

身近な土砂災害を知ろう
「啓発」

- 土砂災害防止月間における集中的な情報発信
- 様々な機会を活用した啓発活動

①土砂災害から身を守る知識を身につける
 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、他部署等が実施する取組や各種イベント等と一層の連携を図り、県民への防災意識の醸成を促進することを通じて、「県民一人一人が土砂災害から身を守る知識を身につけている状態」の実現を目指します。

土砂災害について学ぼう
「防災教育」

- 学校の防災教育と共同した体験授業の展開（砂防出前講座）
- 学校安全指導者に対する説明

②学校が独自に防災教育をできる体制づくり
 県教育委員会と密接な協力連携関係を築き、「学校安全指導者への防災意識を高め、各学校が独自に防災授業を実施できる体制づくり」を目指します。

土砂災害を未来に伝えよう
「伝承」

- 地域の砂防情報アーカイブの推進
- 歴史的砂防施設の保存

③地域の「語り部」を育成
 子供たちが、学校の学習発表会等の機会を通じて、親や地域の方へ、過去に身近で起きた土砂災害について発表するなど、「新たな地域の語り部」を育成することにより、過去の災害が確実に地域住民へ伝承されていく状態の実現を目指します。

「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ホームページアドレス

<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/>

「地域の砂防情報アーカイブ」



■概要

「地域の砂防情報アーカイブ」は、地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する貴重な写真等を記録・公開し、土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、地域の防災意識の向上を図るため、平成23年度より県ホームページ上で「地域の砂防情報アーカイブ」を運用開始し、これまでに**1,955点**の過去の災害写真や体験談等の資料を公開している。



「地域の砂防情報アーカイブ」イメージ

災害情報の記録・公開の一例



過去の災害情報活用事例



「地域の砂防情報アーカイブ」ホームページアドレス

<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx>

災害の記憶つなぐ人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～

県民の土砂災害に対する防災意識の醸成を図るとともに、過去の災害の記憶を伝承していくため「啓発」「防災教育」「伝承」を3本の柱とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の取組を進めており、各市町や地域の皆様と連携した災害伝承の取組状況を踏まえ、県民のニーズに応えるため、「災害の記憶つなぐ人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～」を新たに創設し、地域の皆様の災害伝承の取組を支援します。
地域の防災に関する啓発活動等に対し、『つなぐキット』（土砂災害防止に関する啓発・伝承パネル及びDVDの貸出、啓発パンフレットの提供）を貸出・提供しますので、是非、ご利用ください。

■支援制度開始日：平成30年2月1日から

■支援内容

- 土砂災害 啓発・伝承パネル貸出 105枚
- 土砂災害防止に関するDVD貸出 3種類
- 土砂災害防止に関するパンフレット提供

「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイトホームページアドレス
<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/>



砂防出前講座 R02.10.27 呉市立和庄小学校

講座の実施概要

- (1) 実施日及び時間
令和2年10月27日(火)
13:55~15:30
- (2) 対象者
呉市立和庄小学校
5年生39人
- (3) 説明者
・広島県砂防課、危機管理課
・砂防ボランティア
- (4) 内容
・土砂災害についての概要(講義)
・VR体験
・マイタイムライン作成

講義



模型実験



受講風景

VR体験



児童さんの感想

- 出前講座を受けて災害からわたしたちを守ってくれているものがあることが分かったし、VRで災害のこわさが分かりました。今自分の家はあぶくないということが分かったけど、もしものときには必要なものを素早く準備したり近所の人にも声がけをしたいと思います。
- 災害が起きたときにどういう風な行動をすれば良いのかがしっかり分かりました。
- 私の家は警戒区域だということを知ったので、もし警戒レベル4までいったら緊張感をもって避難したいと思います。

砂防出前講座 R02.12.16 廿日市市立宮島小学校

講座の実施概要

- (1) 実施日及び時間
令和2年12月16日(水)
10:30~11:30
- (2) 対象者
廿日市市立宮島小学校
5,6年生27人
- (3) 説明者
・広島県砂防課
- (4) 内容
・紅葉谷川庭園砂防施設の見学
・宮島で起きた過去の土砂災害について(講義)
・模型実験

講義



受講風景

施設見学



児童さんの感想

- 紅葉谷川に砂防ダムがあるなんて知らなかった。ただ石がならんでいるだけかと思っていました。
- もしもの時のために、ハザードマップを確認したり、非常食など必要な物を準備しておきたいです。
- 砂防ダムのところに本当にコンクリートの面もあることにおどろきました。
- 災害がくる前に、家族で避難場所などを確認して備えておきたいと思います。
- 砂防ダムはあるのに自然にとけこんでいてすごい。